



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月12日

上場会社名 株式会社パーカーコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 9845 URL <https://www.parkercorp.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 里見 嘉重
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員業務本部長 (氏名) 橋本 一徳 (TEL) 03-5644-0600
 定時株主総会開催予定日 2020年6月25日 配当支払開始予定日 2020年6月26日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	50,768	△1.8	3,421	△13.2	3,582	△14.2	2,513	△7.6
2019年3月期	51,716	4.6	3,941	9.4	4,173	6.5	2,719	11.6

(注) 包括利益 2020年3月期 2,149百万円 (34.2%) 2019年3月期 1,601百万円 (△62.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	97.74	—	8.5	7.0	6.7
2019年3月期	105.29	—	9.6	8.1	7.6

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 69百万円 2019年3月期 92百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	51,246	32,787	59.0	1,177.05
2019年3月期	51,449	31,198	55.9	1,118.42

(参考) 自己資本 2020年3月期 30,232百万円 2019年3月期 28,757百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	3,761	△1,873	△1,431	11,588
2019年3月期	4,683	△1,724	△1,755	11,137

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	6.00	—	6.50	12.50	322	11.9	1.1
2020年3月期	—	6.50	—	6.50	13.00	334	13.3	1.1
2021年3月期(予想)	—	3.00	—	6.00	9.00		15.4	

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	△9.4	2,200	△35.7	2,500	△30.2	1,500	△40.3	58.40

(注) 1. 上記の連結業績見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で先行き不透明な状況の下で、特に第2四半期連結期間までは、感染症の影響による市場の環境悪化を背景とした受注の減少や後ろ倒し、商品・製品の納期遅延の発生による減収を見込んでおります。その影響の期間が現時点では不透明であります。第3、第4四半期連結期間については業務運営の正常化を前提として通期見通しを策定しております。
 今後の収束状況によって業績予想の修正が必要となる場合には、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	26,801,452株	2019年3月期	26,801,452株
② 期末自己株式数	2020年3月期	1,116,143株	2019年3月期	1,088,325株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	25,710,984株	2019年3月期	25,824,155株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	25,894	△3.6	1,188	△22.7	1,708	△12.6	1,488	3.9
2019年3月期	26,863	2.3	1,537	25.0	1,953	27.6	1,431	37.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	57.88	—
2019年3月期	55.45	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	26,341		16,176		61.4		629.80	
2019年3月期	27,732		15,381		55.5		598.21	

(参考) 自己資本 2020年3月期 16,176百万円 2019年3月期 15,381百万円

2. 2021年3月期の個別業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	24,000	△7.3	1,000	△41.5	700	△53.0	27.25	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. 個別財務諸表	17
(1) 貸借対照表	17
(2) 損益計算書	19
(3) 株主資本等変動計算書	20

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により、全体としては緩やかな回復基調で推移していましたが、日本国内では大規模な自然災害の発生や消費増税、海外では中国経済の減速や米中貿易摩擦等の影響により先行き不透明な状況が続く中、新型コロナウイルス感染症拡大による経済への影響が増大し、年度末にかけて景気は急速に悪化しました。

このような経済情勢の下、当社グループは主力の自動車業界や電器・電子部品業界のグローバルな市場動向に注視しながら、事業セグメントごとに顧客により密着した事業活動を展開してまいりました。その一環として、国内事業の競争力強化と海外収益の拡大を経営方針としてより一層のマーケティング力の強化を図り、市場性のある製品開発を推進しております。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高50,768百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益3,421百万円（同13.2%減）、経常利益3,582百万円（同14.2%減）、なお、米国子会社の不動産を売却したこと等により固定資産売却益1,046百万円を特別利益に計上しましたが、海外子会社の留保利益に係る繰延税金負債が増加したこと等で法人税等調整額634百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益2,513百万円（同7.6%減）となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

・機械部門

主力の国内外向け自動車用内装製造設備の製造販売は、前年同様の大型案件の受注が減少し、海外子会社の事業譲渡の影響もあり、減収減益となりました。

当部門の売上高は、売上高3,515百万円（同15.9%減）、営業利益は333百万円（同25.4%減）となりました。

・化成品部門

国内外の自動車業界向けの製造販売は、主要自動車メーカー向けの販売の減少等により、減収減益となりました。

当部門の売上高は17,018百万円（同0.9%減）、営業利益は1,203百万円（同12.3%減）となりました。

・化学品部門

国内市場向けの大型洗浄設備の販売は堅調に推移しましたが、付加価値の高い一般工業用ケミカル及び輸出関連の販売が減少した事により減収減益となりました。

当部門の売上高は6,494百万円（同4.3%減）、営業利益は324百万円（同39.5%減）となりました。

・産業用素材部門

自動車用防音材の製造販売は、前年の期中に新規採用された製品の販売が期初から売上に寄与しましたが、一部の自動車メーカー向けの販売は減少しました。また家電用防音材の製造販売は、東南アジアにおける輸出は好調に推移しましたが、中国子会社の清算に伴い退職金の費用が増加したこと等により、増収減益となりました。

当部門の売上高は17,253百万円（同3.3%増）、営業利益は885百万円（同9.2%減）となりました。

・化工品部門

国内各種メンテナンス用ケミカル販売は総じて堅調に推移しましたが、海外でのIT需要の低迷により、電子産業用ファインケミカルの製造販売は低調に推移し、減収増益となりました。

当部門の売上高は4,187百万円（同2.1%減）、営業利益は468百万円（同2.2%増）となりました。

・その他部門

中国の輸入販売は暖冬の影響により低調に推移しましたが、海外子会社における収益改善等により、減収増益となりました。

当部門の売上高は2,299百万円（同11.4%減）、営業利益は207百万円（同35.6%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末と比べ202百万円減少し、51,246百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加(909百万円)、設備投資による有形固定資産の増加(659百万円)がありました。受取手形及び売掛金の減少(1,092百万円)、保有株式の時価の下降による投資有価証券の減少(678百万円)によるものです。

負債は前連結会計年度末と比べ1,792百万円減少し、18,459百万円となりました。主な要因は、繰延税金負債の増加(448百万円)でしたが、支払手形及び買掛金の減少(1,667百万円)、1年以内返済予定の長期借入金及び長期借入金の減少(460百万円)によるものです。

純資産は前連結会計年度末と比べ1,589百万円増加し、32,787百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の減少(543百万円)、為替換算調整勘定の減少(150百万円)でしたが、利益剰余金が増加(2,178百万円)したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ、450百万円増加の11,588百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益4,793百万円(前期は4,129百万円)、減価償却費1,280百万円(前期は1,232百万円)、売上債権の減少による1,041百万円の増加(前期は689百万円の増加)、仕入債務の減少による1,691百万円の減少(前期は416百万円の増加)等により3,761百万円の収入(前期は4,683百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、米国の連結子会社における不動産の売却等による有形固定資産の売却による収入1,239百万円(前期は54百万円の収入)でしたが、産業用素材部門における新規製造設備の購入、中国の連結子会社における工場の建設費用等の有形固定資産の取得による支出2,162百万円(前期は1,574百万円の支出)等により、1,873百万円の支出(前期は1,724百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増減額によるキャッシュ・フローの支出267百万円(前期は474百万円の支出)、長期借入金の返済による支出793百万円(前期は626百万円の支出)、配当金の支払334百万円(前期は284百万円の支出)等により、1,431百万円の支出(前期は1,755百万円の支出)となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率(%)	48.8	50.9	53.3	55.9	59.0
時価ベースの自己資本比率(%)	17.9	30.5	31.2	25.6	20.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	2.8	1.7	1.6	1.2	1.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	40.2	74.3	75.3	122.1	150.6

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、リース債務を除く利子を支払っている負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる世界的な感染者数の拡大を受け国内外の経済活動の停滞により、当社グループにおける生産活動にも影響が及んでおります。新型コロナウイルス感染症の影響で先行き不透明な状況の下で、特に第2四半期連結期間までは、感染症の影響による市場の環境悪化を背景とした受注の減少や後ろ倒し、商品・製品の納期遅延の発生による減収を見込んでおります。その影響の期間が現時点では不透明であります。第3、4四半期連結期間については業務運営の正常化を前提として通期見通しを策定しております。

次期の業績予想につきましては、売上高46,000百万円（前年同期比9.4%減）、営業利益2,200百万円（前年同期比35.7%減）、経常利益2,500百万円（前年同期比30.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益1,500百万円（前年同期比40.3%減）を見込んでおります。

今後におきましても、経済環境や市場動向を注視し、業績予想の適切な開示に努めてまいります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、財務体質と経営基盤の強化を図り、長期的な視点に立って株主の皆様への安定的な配当を継続することを心がけております。当社の剰余金の配当は、中間配当及び期末配当の年2回を基本的な方針としております。配当の決定機関は、中間配当は取締役会、期末配当は株主総会であります。この基本的な考え方にに基づき、当期の剰余金の配当につきましては、中間配当金として1株当たり6円50銭を実施いたしました。期末配当金につきましては1株当たり6円50銭とし、これにより当期の配当金は13円となります。

次期の配当金は厳しい現状を勘案して中間3円、期末6円、年間で9円を予定しております。今後とも、これらの方針を堅持し安定的な経営基盤の確保に努力していく所存であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の比較可能性の維持の為、現時点では日本基準を適用することとしております。今後につきましては、グループ内における会計手続き方針の統一を進めるとともに、国際財務報告基準(IFRS)の会計基準改定の動向を勘案して、当社グループの経営管理に適した会計基準を選択したいと考えております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,152	12,061
受取手形及び売掛金	12,836	11,743
商品及び製品	3,409	3,191
仕掛品	446	365
原材料及び貯蔵品	1,213	1,423
その他	1,141	1,033
貸倒引当金	△11	△8
流動資産合計	30,188	29,811
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,446	8,864
減価償却累計額	△5,569	△5,374
建物及び構築物（純額）	2,877	3,490
機械装置及び運搬具	7,294	7,884
減価償却累計額	△5,510	△5,865
機械装置及び運搬具（純額）	1,784	2,019
土地	6,308	6,236
リース資産	632	561
減価償却累計額	△285	△317
リース資産（純額）	346	243
建設仮勘定	1,061	1,022
その他	3,622	3,723
減価償却累計額	△3,045	△3,123
その他（純額）	576	600
有形固定資産合計	12,954	13,613
無形固定資産		
借地権	128	115
その他	473	436
無形固定資産合計	602	552
投資その他の資産		
投資有価証券	5,898	5,219
長期貸付金	262	412
繰延税金資産	251	243
その他	1,379	1,481
貸倒引当金	△89	△88
投資その他の資産合計	7,703	7,269
固定資産合計	21,260	21,435
資産合計	51,449	51,246

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,017	7,350
短期借入金	2,612	2,326
1年内返済予定の長期借入金	1,381	909
リース債務	170	137
未払法人税等	558	451
賞与引当金	724	743
その他	1,469	1,802
流動負債合計	15,934	13,721
固定負債		
長期借入金	1,527	1,538
リース債務	204	126
繰延税金負債	768	1,216
役員退職慰労引当金	159	126
退職給付に係る負債	1,581	1,656
資産除去債務	16	16
その他	58	56
固定負債合計	4,316	4,737
負債合計	20,251	18,459
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,201	2,201
資本剰余金	2,477	2,477
利益剰余金	21,093	23,272
自己株式	△307	△318
株主資本合計	25,465	27,632
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,206	2,663
繰延ヘッジ損益	△1	0
為替換算調整勘定	88	△62
退職給付に係る調整累計額	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	3,292	2,600
非支配株主持分	2,440	2,554
純資産合計	31,198	32,787
負債純資産合計	51,449	51,246

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	51,716	50,768
売上原価	38,623	38,006
売上総利益	13,092	12,762
販売費及び一般管理費	9,150	9,340
営業利益	3,941	3,421
営業外収益		
受取利息	38	46
受取配当金	97	93
受取賃貸料	4	12
持分法による投資利益	92	69
貸倒引当金戻入額	71	—
その他	76	84
営業外収益合計	381	305
営業外費用		
支払利息	44	35
貸与資産減価償却費	3	0
為替差損	77	69
その他	23	39
営業外費用合計	149	144
経常利益	4,173	3,582
特別利益		
固定資産売却益	11	1,046
移転補償金	—	273
特別利益合計	11	1,320
特別損失		
固定資産売却損	3	18
固定資産除却損	43	88
減損損失	8	1
特別損失合計	55	109
税金等調整前当期純利益	4,129	4,793
法人税、住民税及び事業税	1,060	1,321
法人税等調整額	35	634
法人税等合計	1,095	1,956
当期純利益	3,033	2,837
非支配株主に帰属する当期純利益	314	324
親会社株主に帰属する当期純利益	2,719	2,513

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	3,033	2,837
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△703	△404
繰延ヘッジ損益	△0	1
為替換算調整勘定	△469	△103
退職給付に係る調整額	△0	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△257	△179
その他の包括利益合計	△1,431	△687
包括利益	1,601	2,149
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,372	1,820
非支配株主に係る包括利益	229	329

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,201	2,277	18,740	△210	23,008
当期変動額					
剰余金の配当			△284		△284
親会社株主に帰属する当期純利益			2,719		2,719
自己株式の取得				△96	△96
連結範囲の変動			△81		△81
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		200			200
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	200	2,352	△96	2,456
当期末残高	2,201	2,477	21,093	△307	25,465

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	4,098	△0	541	0	4,639	2,700	30,348
当期変動額							
剰余金の配当							△284
親会社株主に帰属する当期純利益							2,719
自己株式の取得							△96
連結範囲の変動							△81
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動							200
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△891	△0	△453	△0	△1,346	△260	△1,607
当期変動額合計	△891	△0	△453	△0	△1,346	△260	849
当期末残高	3,206	△1	88	△0	3,292	2,440	31,198

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,201	2,477	21,093	△307	25,465
当期変動額					
剰余金の配当			△334		△334
親会社株主に帰属する当期純利益			2,513		2,513
自己株式の取得				△11	△11
連結範囲の変動					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,178	△11	2,167
当期末残高	2,201	2,477	23,272	△318	27,632

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	3,206	△1	88	△0	3,292	2,440	31,198
当期変動額							
剰余金の配当							△334
親会社株主に帰属する当期純利益							2,513
自己株式の取得							△11
連結範囲の変動							
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動							
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△543	1	△150	△0	△692	114	△577
当期変動額合計	△543	1	△150	△0	△692	114	1,589
当期末残高	2,663	0	△62	△0	2,600	2,554	32,787

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,129	4,793
減価償却費	1,232	1,280
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△63	△4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	34	17
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	61	72
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△141	△33
受取利息及び受取配当金	△135	△139
支払利息	44	35
持分法による投資損益 (△は益)	△92	△69
有形固定資産除却損	43	88
有形固定資産売却損益 (△は益)	△7	△1,028
減損損失	8	1
為替差損益 (△は益)	10	14
売上債権の増減額 (△は増加)	689	1,041
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△197	57
仕入債務の増減額 (△は減少)	416	△1,691
その他	△307	604
小計	5,724	5,041
利息及び配当金の受取額	137	143
利息の支払額	△38	△24
法人税等の支払額	△1,140	△1,398
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,683	3,761
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,574	△2,162
有形固定資産の売却による収入	54	1,239
無形固定資産の取得による支出	△129	△66
投資有価証券の取得による支出	△7	△7
長期貸付けによる支出	△31	△152
貸付金の回収による収入	1	3
関係会社出資金の払込による支出	△2	△173
定期預金の増減額 (△は増加)	18	△459
その他	△53	△93
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,724	△1,873

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△474	△267
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△183	△207
長期借入れによる収入	200	331
長期借入金の返済による支出	△626	△793
自己株式の取得による支出	△96	△11
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△222	—
配当金の支払額	△284	△334
非支配株主への配当金の支払額	△68	△214
セール・アンド・リースバックによる収入	—	65
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,755	△1,431
現金及び現金同等物に係る換算差額	△92	△5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,111	450
現金及び現金同等物の期首残高	9,717	11,137
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	308	—
現金及び現金同等物の期末残高	11,137	11,588

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は事業本部を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「機械部門」、「化成部品部門」、「化学品部門」、「産業用素材部門」、「化工品部門」の5つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「機械部門」は、食品機械・製靴機械・自動車関連設備機械等の製造販売をしております。「化成部品部門」は、自動車用製造ライン向けシーリング材・アンダーコート・車体軽量化と剛性補助材料の中空発泡部材・ガラス用シール材等の製造販売をしております。「化学品部門」は、工業用洗浄剤・鉄鋼設備機械等の製造販売をしております。「産業用素材部門」は、自動車用防音材・家電用防音材等の製造販売をしております。「化工品部門」は、電子産業用ファインケミカル・洗車ケミカル他工業用薬品・工業用熱風機等の製造販売をしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益の数値であります。セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場価格や製造原価に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 3	連結財務 諸表計上 額 (注) 2
	機械部門	化成品部 門	化学品部 門	産業用素 材部門	化工品部 門	計				
売上高										
外部顧客への売上高	4,180	17,168	6,783	16,709	4,277	49,119	2,596	51,716	—	51,716
セグメント間の内部売上高 又は振替高	169	190	110	11	0	484	889	1,373	△1,373	—
計	4,350	17,359	6,894	16,721	4,278	49,604	3,485	53,089	△1,373	51,716
セグメント利益	446	1,372	535	975	458	3,788	152	3,941	—	3,941
セグメント資産	2,806	11,723	6,708	16,273	4,702	42,213	3,438	45,652	5,796	51,449
その他の項目										
減価償却費	41	425	117	559	63	1,208	24	1,232	—	1,232
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	83	462	309	700	256	1,812	2	1,814	—	1,814

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品・不動産賃貸を含んでおります。

2 報告セグメントの利益と連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。

3 セグメント資産の調整額5,796百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産6,756百万円及び報告セグメント間の債権債務の消去等△959百万円です。全社資産の主なものは、親会社での余資運用資金(現金及び預金)及び長期投資資金(投資有価証券)であります。

4 各事業の主な取扱い区分に属する主要製品

事業区分	主要製品
機械部門	食品・化学設備機械、製靴機械・材料、自動車関連設備機械、粉体塗装機器
化成品部門	自動車用材料(ボディーシーラー、アンダーコート他) 自動車部品(剛性補助材、制振材、中空発泡部材他) ガラス用シール材
化学品部門	工業用洗浄剤、バレル研磨機、研磨材料、鉄鋼・特殊鋼設備機械 ケミカル(塗料・薬品)、道路機材
産業用素材部門	自動車用防音材、家電用防音材、建設資材
化工品部門	電子産業用ファインケミカル、洗車ケミカル他工業用薬品、洗浄設備 工業用熱風機
その他	石油関連商品、不動産賃貸

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 3	連結財務 諸表計上 額 (注) 2
	機械部門	化成品部 門	化学品部 門	産業用素 材部門	化工品部 門	計				
売上高										
外部顧客への売上高	3,515	17,018	6,494	17,253	4,187	48,469	2,299	50,768	-	50,768
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20	146	101	8	2	277	889	1,166	△1,166	-
計	3,535	17,164	6,595	17,261	4,189	48,746	3,188	51,935	△1,166	50,768
セグメント利益	333	1,203	324	885	468	3,214	207	3,421	-	3,421
セグメント資産	3,589	11,530	5,966	17,479	4,719	43,285	3,233	46,518	4,727	51,246
その他の項目										
減価償却費	46	434	96	620	58	1,257	22	1,280	-	1,280
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	20	435	239	1,207	302	2,206	10	2,216	-	2,216

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品・不動産賃貸を含んでおります。

2 報告セグメントの利益と連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。

3 セグメント資産の調整額4,727百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産5,475百万円及び報告セグメント間の債権債務の消去等△747百万円です。全社資産の主なものは、親会社での余資運用資金(現金及び預金)及び長期投資資金(投資有価証券)であります。

4 各事業の主な取扱い区分に属する主要製品

事業区分	主要製品
機械部門	食品・化学設備機械、製靴機械・材料、自動車関連設備機械
化成品部門	自動車用材料(ボディーシーラー、アンダーコート他) 自動車部品(剛性補助材、制振材、中空発泡部材他) ガラス用シール材
化学品部門	工業用洗剤、バレル研磨機、研磨材料、鉄鋼・特殊鋼設備機械 ケミカル(塗料・薬品)、道路機材
産業用素材部門	自動車用防音材、家電用防音材、建設資材
化工品部門	電子産業用ファインケミカル、洗車ケミカル他工業用薬品、洗浄設備 工業用熱風機
その他	石油関連商品、不動産賃貸

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,118.42円	1,177.05円
1株当たり当期純利益金額	105.29円	97.74円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	2,719	2,513
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	2,719	2,513
普通株式の期中平均株式数(株)	25,824,155	25,710,984
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—————	

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	31,198	32,787
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	2,440	2,554
(うち非支配株主持分)(百万円)	(2,440)	(2,554)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	28,757	30,232
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	25,713,127	25,685,309

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,551	2,878
受取手形	527	494
電子記録債権	1,118	1,032
売掛金	6,558	6,017
商品	1,303	1,472
前渡金	249	104
前払費用	139	133
関係会社短期貸付金	214	60
未収入金	409	470
その他	8	21
貸倒引当金	△85	△31
流動資産合計	13,996	12,652
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,121	1,080
構築物	35	28
機械及び装置	264	268
車両運搬具	10	8
工具、器具及び備品	66	58
土地	3,584	3,584
リース資産	281	183
建設仮勘定	249	645
有形固定資産合計	5,613	5,857
無形固定資産		
ソフトウェア	200	198
ソフトウェア仮勘定	165	133
電話加入権	3	3
無形固定資産合計	369	334
投資その他の資産		
投資有価証券	1,319	1,351
関係会社株式	4,657	4,132
関係会社出資金	725	845
長期貸付金	262	259
関係会社長期貸付金	448	581
敷金	36	36
保証金	15	15
その他	372	359
貸倒引当金	△85	△85
投資その他の資産合計	7,753	7,495
固定資産合計	13,736	13,688
資産合計	27,732	26,341

(単位:百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	483	257
電子記録債務	546	481
買掛金	4,272	3,597
短期借入金	1,100	850
関係会社短期借入金	—	152
1年内返済予定の長期借入金	1,200	850
リース債務	156	118
未払金	431	308
未払費用	102	99
未払法人税等	279	171
未払消費税等	66	49
前受金	35	81
賞与引当金	420	420
その他	20	22
流動負債合計	9,115	7,460
固定負債		
長期借入金	1,200	1,250
リース債務	146	80
繰延税金負債	542	282
退職給付引当金	865	900
役員退職慰労引当金	120	91
債務保証損失引当金	347	84
資産除去債務	6	6
その他	6	7
固定負債合計	3,235	2,704
負債合計	12,350	10,164
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,201	2,201
資本剰余金		
資本準備金	2,210	2,210
その他資本剰余金	66	66
資本剰余金合計	2,277	2,277
利益剰余金		
利益準備金	179	179
その他利益剰余金		
別途積立金	4,403	4,403
繰越利益剰余金	4,309	5,463
利益剰余金合計	8,892	10,046
自己株式	△307	△318
株主資本合計	13,063	14,206
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,318	1,970
繰延ヘッジ損益	△0	△0
評価・換算差額等合計	2,318	1,969
純資産合計	15,381	16,176
負債純資産合計	27,732	26,341

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	26,863	25,894
売上原価	19,913	19,205
売上総利益	6,949	6,689
販売費及び一般管理費	5,412	5,501
営業利益	1,537	1,188
営業外収益		
受取利息及び配当金	259	438
その他	311	247
営業外収益合計	570	686
営業外費用		
支払利息	12	11
その他	141	154
営業外費用合計	154	166
経常利益	1,953	1,708
特別利益		
固定資産売却益	4	—
関係会社清算益	—	70
特別利益合計	4	70
特別損失		
固定資産除却損	5	3
特別損失合計	5	3
税引前当期純利益	1,953	1,775
法人税、住民税及び事業税	493	395
法人税等調整額	28	△108
法人税等合計	521	287
当期純利益	1,431	1,488

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	2,201	2,210	66	2,277
当期変動額				
剰余金の配当				
当期純利益				
自己株式の取得				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	-	-	-	-
当期末残高	2,201	2,210	66	2,277

	株主資本					自己株式	株主資本合計
	利益剰余金				利益剰余金合計		
	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計			
		別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	179	4,403	3,162	7,745	△210	12,013	
当期変動額							
剰余金の配当			△284	△284		△284	
当期純利益			1,431	1,431		1,431	
自己株式の取得					△96	△96	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	-	-	1,147	1,147	△96	1,050	
当期末残高	179	4,403	4,309	8,892	△307	13,063	

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	2,944	△0	2,944	14,957
当期変動額				
剰余金の配当				△284
当期純利益				1,431
自己株式の取得				△96
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△625	△0	△626	△626
当期変動額合計	△625	△0	△626	424
当期末残高	2,318	△0	2,318	15,381

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	2,201	2,210	66	2,277
当期変動額				
剰余金の配当				
当期純利益				
自己株式の取得				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	-	-	-	-
当期末残高	2,201	2,210	66	2,277

	株主資本					自己株式	株主資本合計
	利益剰余金				利益剰余金合計		
	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計			
		別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	179	4,403	4,309	8,892	△307	13,063	
当期変動額							
剰余金の配当			△334	△334		△334	
当期純利益			1,488	1,488		1,488	
自己株式の取得					△11	△11	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	-	-	1,153	1,153	△11	1,142	
当期末残高	179	4,403	5,463	10,046	△318	14,206	

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	2,318	△0	2,318	15,381
当期変動額				
剰余金の配当				△334
当期純利益				1,488
自己株式の取得				△11
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△348	0	△348	△348
当期変動額合計	△348	0	△348	794
当期末残高	1,970	△0	1,969	16,176